

令和2年度 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）管理総括表

資料 1

**取組の総括**  
 令和2年度の評価結果は対象の全17施策21事業のうち、「評点5点」は1事業、「評点4点」は6事業、「評点3点」は8事業、「評点2点」は6事業、「評点1点」はなかった。全体的に取組の遅れが見られる。環境イベント等の中止、施策検討のための調査等が困難となるなど、新型コロナウイルスの影響が大きかった。

(1) 各主体による低炭素化の推進  
 (2) 低炭素な街づくりの推進  
 (3) 低炭素なモビリティの普及促進  
 (4) 持続可能なライフスタイルの推進  
 (5) 市民参加型の環境意識啓発

**(1) 各主体による低炭素化の推進**

●評価結果

進捗状況	評点	取組数	点数
目標を大幅に超えて達成	5	0	0
目標どおり達成	4	0	0
やや未達	3	2	6
未達	2	1	2
未実施	1	0	0
計		3	8

●進捗管理指標

	2020年度実績	2025年度目安
つくば市の活動による排出量（及び削減量※）	54,726t-CO2/年 (2,795t-CO2)	43,521t-CO2/年 (▲6,918t-CO2)

※削減量は2013年度比

3

●進捗管理指標

	2020年度実績	2025年度目安
市民1人当たりの生活系ごみの排出量	679g/人・日 (2020年度実績)	648g/人・日 (2029年度目安)
リサイクル率	21.1% (2019年度実績)	25.0% (2029年度目安)
地産地消レストラン認定件数（累計）	126件 (2020年度実績)	55件 (2025年度目安)

(特記事項) ※【】は事業番号。  
 全3事業のうち、「評点3点」が2事業、「評点2点」が1事業あった。  
 【1】大穂庁舎及び谷田部交流センターの省エネ改修工事が終了し、年間CO2削減量88.7t-CO2を見込む。しかし、市役所全体の排出量目標49,178t-CO2は未達であった。  
 ○市役所全体による排出量は、2013年度実績51,931t-CO2と比べて2,795t-CO2（5.4%）増えており、2025年度目安の達成が難しい状況にある。

**(2) 低炭素な街づくりの推進**

●評価結果

進捗状況	評点	取組数	点数
目標を大幅に超えて達成	5	1	5
目標どおり達成	4	0	0
やや未達	3	1	3
未達	2	1	2
未実施	1	0	0
計		3	10

●進捗管理指標

	2020年度実績	2025年度目安
低炭素住宅の認定戸数（及び削減量）	83戸/年	55戸/年 [累積330戸] (▲1,033t-CO2)
蓄電池やエネファーム等の導入補助件数（及び削減量）	230件/年	150件/年 [累計900件] (▲535t-CO2)

3

(特記事項) ※【】は事業番号。  
 全3事業のうち、「評点5点」が1事業、「評点3点」が1事業、「評点2点」が1事業あった。  
 【4】低炭素住宅の購入者に対し、費用の一部の補助を行った。低炭素住宅の認定戸数（及びCO2削減量）は、目標55戸/年（▲172t-CO2）を大きく超え、83戸/年（▲259.8t-CO2）となった。住宅メーカー担当者への聞き取りから、低炭素住宅を希望する人は増えているため、2025年度目安を達成できると見込まれる。  
 【5】燃料電池や蓄電池の設置件数（及びCO2削減量）は、目標150件/年（▲89t-CO2）に対して230件（▲66.6t-CO2）であった。温室効果ガス削減効果のある燃料電池の割合が小さく、CO2削減量については未達であった。2013年度の実績70件/年よりも増えており、2025年度の累計件数目安を大きく上回って達成できると見込まれる。

**(3) 低炭素なモビリティの普及促進**

●評価結果

進捗状況	評点	取組数	点数
目標を大幅に超えて達成	5	0	0
目標どおり達成	4	2	8
やや未達	3	1	3
未達	2	1	2
未実施	1	0	0
計		4	13

3

●進捗管理指標

	2020年度実績	2025年度目安
低炭素車への乗換えに対する補助の交付台数（及び削減量）	15台/年	45台/年 [累積270台] (▲156t-CO2)
つくバス1便当たりの平均利用者数	6.3人/便	9.0人以上/便

(特記事項) ※【】は事業番号。  
 全4事業のうち、「評点4点」が2事業、「評点3点」が1事業、「評点2点」が1事業あった。  
 【7】低炭素車導入補助金交付台数（及びCO2削減量）は、目標45台/年（▲52t-CO2）に対して15台/年（▲17t-CO2）と未達であった。交付台数は近年減少傾向にあり、現状では2025年度目安を達成できないことが予想される。  
 【8】つくバス1便当たりの平均利用者数は、新型コロナウイルスの影響による移動自粛等により前年を下回り、目標値である9.0人に対して6.3人と未達であった。新しい生活様式の動向に注視が必要である。

**(4) 持続可能なライフスタイルの推進**

●評価結果

進捗状況	評点	取組数	点数
目標を大幅に超えて達成	5	0	0
目標どおり達成	4	4	16
やや未達	3	3	9
未達	2	1	2
未実施	1	0	0
計		8	27

3

●進捗管理指標

	2020年度実績	2025年度目安
市民1人当たりの生活系ごみの排出量	679g/人・日 (2020年度実績)	648g/人・日 (2029年度目安)
リサイクル率	21.1% (2019年度実績)	25.0% (2029年度目安)
地産地消レストラン認定件数（累計）	126件 (2020年度実績)	55件 (2025年度目安)

(特記事項) ※【】は事業番号。  
 全8事業のうち、「評点4点」が4事業、「評点3点」が3事業、「評点2点」が1事業あった。  
 【13-3】新型コロナウイルスの影響により、サステナスクエアの見学受入れ実績は0で、プラスチックごみの有効利用についての学習機会が設定できなかった。  
 ○2020年度の市民一人当たりの生活系ごみ排出量は、2019年度より8g減少した。また、2019年度のリサイクル率は、2018年度より1.1%上昇し21.1%であった。このペースを維持することで、2029年度目安を達成できると見込まれる。  
 ○地産地消推進のため、地元産食材を使ったレストランを126件認定した。2025年度目安を大きく上回り達成した。

**(5) 市民参加型の環境意識啓発**

●評価結果

進捗状況	評点	取組数	点数
目標を大幅に超えて達成	5	0	0
目標どおり達成	4	0	0
やや未達	3	1	3
未達	2	2	4
未実施	1	0	0
計		3	7

2

●進捗管理指標  
 この項目については、計画期間共通の評価は行わず、個別の取組の内容や結果に応じて評価する。

(特記事項) ※【】は事業番号。  
 全3事業のうち、「評点3点」が1取組、「評点2点」が2取組あった。  
 以下の2事業は、新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった。  
 【15】環境配慮に取り組む事業者への支援策についての他自治体等への調査。  
 【17】新たな環境教育プログラムの検討に向けての他自治体への調査。  
 ⇒進捗が遅れているため、運用に向けての準備、内容の検討スキームを改善していく必要がある。